

集める装備品

1/200

大和艦橋

- 基本設計は、接着剤がなくとも簡単に組み立てられる「スナップフィット」を採用。
- 成型色は、艦 NEXT シリーズで好評を得ている「呉海軍工廠色」を模した灰色を採用。
- 製品は大和型戦艦「1 番艦大和」の昭和 20 年最終形態の姿をモチーフにしています。

- ・部品点数 190 点
- ・接着式ボーナスパーツ 13 点

176mm

92mm

87mm

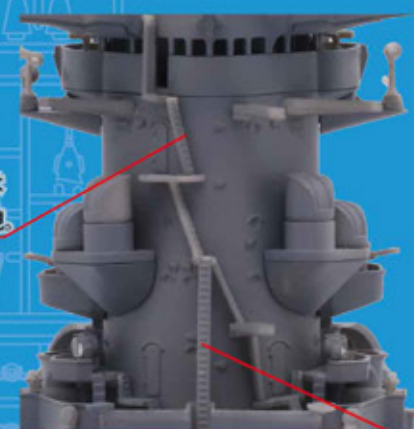
世界最大の艦載砲を持っていた「戦艦大和型」は 1 番艦「大和」、2 番艦「武蔵」が昭和 16 年、17 年に相次いで竣工。これまでの建造技術の集大成として生み出されたものであります。従来の日本戦艦とは一線を画す艦橋外観は同艦建造前に改装を行った戦艦比叡の延長形状にあり、排水量に対してコンパクトにまとめられたものでした。強固な装甲に囲まれた司令塔、艦橋内部にはエレベーターを設置、トップには 15 メートル測距儀を装備し均整のとれた姿でした。

下部見張り所のブルーワークは、風よけ目的で設置されたであろうリップが前方だけにある竣工時からの姿で形状化。



第一艦橋後部の窓形状は、角の面取り（上部のみ）表現し、最中央部とその外側箇所での面取り具合の差を表現。

後部の階段及びハッチは武蔵とは異なる配置を再現。



増設された信号所甲板にかかる階段は左舷にシフトした姿を的確再現。

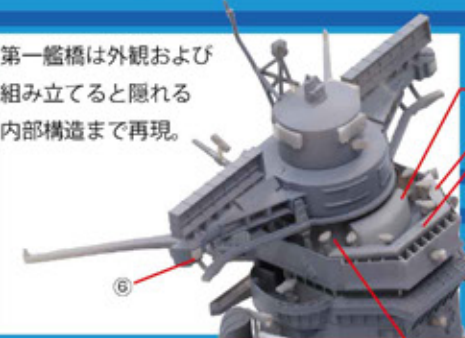
信号用ヤードは残された図面を元に角度を設定。両舷と中央の上反角の差を再現。



日本海軍が建造した世界最大の「戦艦大和型」 その戦闘指揮中枢である「艦橋」部分をインジェクションキット化！

1/200 というピックスケールで、2018 年 3 月に発売した「九四式 46 センチ 3 連装主砲塔」と並べてコレクションができます！

第一艦橋は外観および組み立てると隠れる内部構造まで再現。



- ① 武蔵海底探査で形状が明らかになった伝令所を、当時の大和も同様に装備されていたと推定され設置。
- ② 伝令所のやや上面にある明かり取り窓、側面には出入りハッチを再現。
- ③ 残された図面から独特な曲面で構成された外面形状を再現。

武蔵測距儀脱落の教訓により強化されたより多くのリップが並ぶ姿を再現。ハッチも再現。

- ⑦ 艦橋窓は透明パーツによりリアルなガラス性状を再現。
- ⑧ 第一艦橋の側面は、改正された上部見張り所形状と 5 枚の側面窓を再現し、内側には仕切り扉を再現。

防空指揮所後方の小型双眼鏡は、ボーナスパーツとして収録。ソケットタイプの形状で再現。



射界確保のためリップ部を撤去し高さが低くなった姿を部品化。

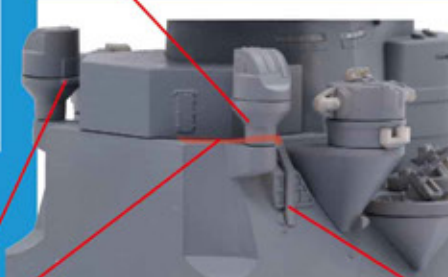
のちに設置された二式哨信儀全受器はブルーワーク前面に、発信器は高上げされた踏み台とともに再現。



- ⑨ 13 ミリ連装機銃の後方上部に前向きに設置された舷窓（航海長 / 参謀長休憩室）も再現。
- ⑩ 1.5 メートル測距儀の両端付近にある構造物は、残された図面より適切に立体化。

実物で最小 10 センチの隙間があり、モデル化に際しても隙間を再現。

武蔵の潜水調査を基に、その周囲は一部推定を交え形状化。



記録写真で明らかな缶室吸気口を覆うように付け替えられたハシゴを再現。

それらを結ぶ動線形状と、前後を往來する兵員待機所横の通路を再現。

副砲指揮所の平面結合で構成された R 面を可能な限り図面通りに表現。

1/2 番探照灯管制器が機銃射撃装置に替えられた基台は、その拡大された面積分を縫ぎ足した影りも再現。



⑪ 信号用ヤード（左右）に設置された 60 センチ信号灯は、レンズ面をクリアパーツ化。

⑫ 60 センチ信号灯設置の周囲床面には、4 つの抜け部分を彫刻で再現。

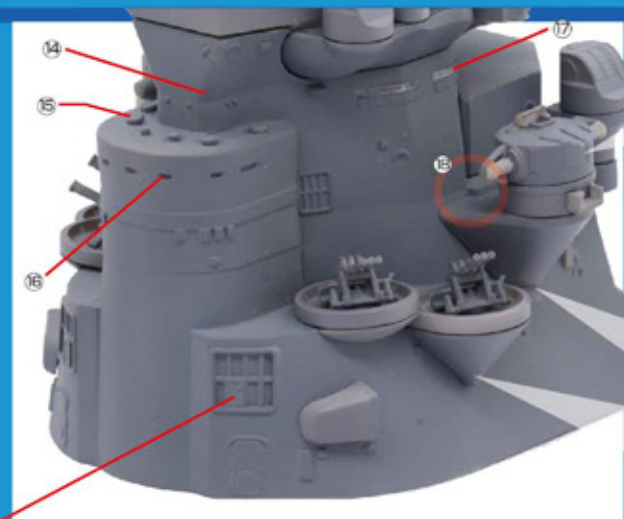
⑬ 22 号電探は、長門の艦橋両舷に設置された方の形状、片側の覆いが延長されたタイプを部品化。

潜水調査であった板状のものを出入り台と推定し形状化。

信号所甲板裏面には、今も残る信号所フラット平面図を基にして忠実に立体化。

- ⑭ 第二艦橋の下方から司令塔に向かい絞られていく形状と隅角部の R 造形を的確に立体化。
- ⑮ 司令塔天蓋部には、潜望鏡ハッチパーツを接着式のボーナスパーツとして収録。
- ⑯ 司令塔のぞき窓は、装甲厚と視界確保の関係から断面は階段状になっており各箇所の幅の差も含め表現。
- ⑰ 副砲予備射撃指揮所は、覆いが開状態として、窓部は透明パーツ化。
- ⑱ 砲塔前部幅 4600 ミリ / 後部 5000 ミリとした際の差の集合部を、九四式高射装置背後で推定形状にて表現。

基部前面の缶室吸気口は、1 枠のみ点検用らしきヒンジ付きメッシュとなっており、その差異形状を反映。



前面～天面の窓形状は、開口部を改造した形状にて再現。

設置の台、裾部には大和のみで見られる吸気口らしき構造物を追加再現。



機銃座下部末端に突起がある形状は記録写真より表現。

